

## 1.APDとは

APDとは、(Actutevity Promotion Department) の頭文字をとったもので、日本語に訳すと、「活動宣伝部」という意味になります。

## 2.活動目的

その一 情報システム系列に所属している各グループのPRを通じて、各グループの活動を学校や地域の人々により知ってもらい、興味を持ってもらう。

その二 今、持っている画像処理技術をさらに向上させて、各グループの紹介写真を制作する。

その三 総合de創郷カンパニーの各グループの活動や、よりよい課題研究ができるように、裏方としてこのカンパニーを支える。

## 3.活動内容

- ・画像処理技術を生かしたグループ写真制作。
- ・イラストレーターと。Photoshopの技術向上。

## 4.工夫したところと使用した技術と得た知識

総合de創郷カンパニーに所属している各グループの紹介写真制作における見出しについて説明します。

### (1) 工夫したところ

- ・各グループの活動内容やイメージが文字をみただけで見ると人に伝わるように、各チーム名の文字色を決めた。
- ・凌霜戦隊 ジーケーファイブは、ロゴを使って、写真を見た人に印象が残るようにした。
- ・写真を見る人が見やすいように、文字を最小限にした。

### (2) 使用した技術

- ・マルチメディア技術で得た画像の合成方法。

- ・イラストレーターでのパス作成。
- ・マルチメディア技術で学んだ色が人に与える印象。

### (3) 得た知識

- ・文字を配置する場所・文字の書体によって見る人が見やすくなったり、見にくくなる。
- ・光の明るさで、写真が人に与える印象を変えること。
- ・写真の撮り方によって、グループの印象が変わってしまい、違った印象を人に与えてしまう。

## 5.まとめ

活動宣伝部として、総合de創郷カンパニーの各グループを支えることができた。

Photoshop やイラストレーターの技術を各グループ紹介写真制作を通して、向上させることができた。また、写真を見る人が見やすくなるように、イメージが見る人により伝わるようにする方法を考え、紹介写真を制作することができた。

## 6.制作作品



文字色を赤にしてイメージが伝わるようにしました。



文字の向きを意識し、明るさを上げる工夫をして制作しました。



文字の色・書体・位置を意識し、見る人にイメージが伝わるように制作しました。



文字の色を工夫し、書体と文字色でイメージが伝わるように制作しました。



ロゴを使用し、炎を背景に合成して印象が残るように制作しました。



文字色をみただけで、写真を見る人に、イメージが伝わるように制作しました。